

今野 孝嶺

希望

洋上風力発電に関する資料の常設展示を

質 国内初の商業用の洋上風力発電稼働により本市への注目が集まっている。洋上風力に関心を持った方々を市内へ誘導するために、洋上風力発電に関する模型やパネル等の常設展示を行えないか。

答 模型やパネル等の常設展示を行うことは、視察や誘客につながるほか、市民の理解を深めるためにも大変有効な手段と捉えており、4月から本市に移転する秋田洋上風力発電株式会社展示について検討していると伺っている。市としては、民間事業者との連携を図りながら、洋上風力発電が誘客の推進にもつながるよう取り組んでいく。

浅内小学校の小規模特認校制度

質 浅内小学校は、学区に関係なく、市内全域から就学できる小規模特認校に指定されている。学区外から就学している児童数と、少人数の良さを生かした教育の特色はどのようなものか。

答 就学児童数は、令和5年度までに6名となった。小規模校の良さとしては活躍の機会が多いことや、全校遠足・農園活動等の豊かな体験活動により、学年を超えた連帯感や思いやりの心が育まれていること等が挙げられる。さらに、地域の方々が「浅内小応援隊」という組織を立ち上げるなど、地域に愛される学校であることも魅力の一つである。

その他の質問事項

- 輪作体系の導入
- 移住体験住宅を設置する考えは
- ふるさと納税制度

畠 貞一郎

市民ネットフック
市民の声、大河の会、能代民政会

当初予算編成は何を基軸に行つたのか

質 私たちの地域において、出生数の減少、人口減少は紛れもない事実である。本来一丁目一番地は人口減少対策だと考えるが、何を基軸に行つたのか。

答 第2次能代市総合計画後期基本計画の初年度となる5年度当初予算では、3つの重要課題である、子どもを生き育てやすい環境づくり、働く環境の向上と人材の確保、地域の特色を生かした産業のさらなる振興を中心に、当面の行政課題や本市の将来に資する重要課題等に積極的に取り組む予算を編成した。

中心市街地活性化

質 中心市街地では、北高跡地の利活用、畠町再開発、各種建造物の老朽化など様々な課題があるが、地域貢献を掲げている洋上風力に関わる商社等に、中心市街地に対しての貢献策を話し合えないか。

答 能代市、三種町及び男鹿市沖における洋上風力発電事業者と、地域共生策の具体的な取組について協議を重ねている。現在、中心市街地においては、商店街や市民団体等の主体が、活性化に資するイベントや勉強会等の様々な取組を行っており、これらの動きに対する洋上風力発電事業者の支援の可能性について探っていききたい。

その他の質問事項

- エネルギーのまちは
- 能代七夕天空の不夜城の保管場所

菊地 時子

日本共産党

持続可能な地域農業

質 食料生産を担う農業の在り方に寄り添い、環境負荷の軽減と地域社会の持続可能性を考え生態系を生かした豊かな農業を目指すべき。そのためにも有機農産物の生産者を育てる考えは。

答 無農薬・無化学肥料の有機栽培や、農薬・化学肥料の使用を半分以下にする特別栽培は、労力や資材コストが掛かり増しになることや、収量や品質が不安定であるなどの課題がある。現在、2組織が環境保全型農業直接支払交付金事業を活用し、有機栽培米、特別栽培米に取り組んでいるが、今後も取組意欲のある農業者の相談に応じ、支援していききたい。

能代火力発電所の脱硝装置

質 気候危機の非常事態のもと、脱炭素化が急がれるが、石炭火力へ固執し、気候危機に全く背を向けている。能代火力発電所からの排ガスの影響が心配である。脱硝装置は設置されているか。

答 石炭の燃焼に伴い発生する窒素酸化物を除去する排煙脱硝装置は、2号機及び3号機に設置されている。1号機については、現時点において設置されていないが、公害防止協定において、環境への影響が確認された場合は対応することとされている。

その他の質問事項

- 学校給食に地元産の有機米を
- 地域公共交通の再編は地域住民の参画で